

◆職場内家庭教育研修会◆

愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

日時：令和4年1月21日(金) 午後5時15分～

会場：安城更生病院 会議室

講師：目黒 達哉 氏

同朋大学 社会福祉学部教授（臨床心理士）

演題：『コミュニケーション能力を高める傾聴』



今回の研修会は1日の勤務を終えた夕方から始まりました。人の命に向き合う緊張した勤務で、更にこの2年は新型コロナウイルスの感染拡大で心身に負担のかかる職場だと思いますが、参加された方はそれを感じさせない熱意で講師の話に耳を傾けていました。

講演では、家庭で家族の話を書くことや、職場で患者の話を書くことについて講師の先生から具体的に教えていただきました。私たちは普段から人の話を聞いていますが、人の話を聞くことの難



しさと、難しいゆえにどうすれば相手に寄り添って聞けるのかを、生活の場面と心理学の知見とを組み合わせると分かりやすくお話しいただきました。また、攻撃的な言い方をしてくる人に時折遭遇しますが、心理学の理論からどうしてそういう言い方になるのかも説明していただきました。

限られた時間の研修でしたが、要点を絞った先生の説明で有意義な研修会になりました。事後アンケートにももう少し詳しく教えてほしいという声が寄せられ、参加された方の意気込みが伝わってきました。



参加された方々の感想より

- 自分の伝えたいことの30%しか伝わらないことは驚きでした。それをふまえてコミュニケーションを取っていきたいです。
- 傾聴について知っているようできちんと理解できていなかったということがよくわかりました。傾聴は困難であるという前提に立って、人の話を積極的に聞くことを実践していきたいと思います。
- 話を聞いているとき、「過去」や「未来」が気になって「現在」を置き去りにしていることがよくあると気づかされました。「現在」に集中して患者さんのお話をしっかり聴けるように心掛けたいと思いました。